

いながわ 猪名川河川レンジャー News Letter

TOPICS

- ・活動報告等「猪名川のい～な！」入賞作品の紹介
外来植物の出前講座
河川レンジャーと地域との連携「数珠つなぎインタビュー」
- ・コラム 猪名川の水環境を知る
- ・お知らせ 第13回 猪名川クリーン作戦

2015 vol.2
1月発行

2016年1月発行

猪名川河川事務所長賞

余野川中流



『川って気持ちいい』
新谷 花音さま

【猪名川河川事務所長のコメント】川遊びの楽しさが伝わってきます。川にたくさんのお魚がいるとワクワクしますね。みんなの笑顔に癒されました。

阪急猪名川鉄橋の下流



『戯むれ』
瀧川 雅晴さま

【猪名川河川事務所長のコメント】水の流れるのが大好きな様子、夕日の光が溶けこんだ水面、その中で女子学生が無邪気そうに戯れているその一瞬を捉えたすばらしい作品でした。

猪名川河川レンジャー賞

ふるさと館の裏



『この辺りにいたよ！』
鳴石 典央さま

【河川レンジャーのコメント】夢中になって遊んでいる感じが伝わります。タイトルもよいですね。子供たちにもっと豊かな川を残したいですね。

猪名川ドラゴン公園前



『子供の日の猪名川』
藤井 正威さま

【河川レンジャーのコメント】夏には水遊びが一番！！水のこころよい感触を忘れないで。目指せ！！川ガール。

多田大橋の上流



『カニがいたよ』
安志摩 蓮さま

【河川レンジャーのコメント】大きいカニですね。家族で川遊びに来て、カニを見つけた喜びと、驚きがいっぱい伝わってきます。

千里川 豊中14中前



『散歩道 秋景色』
高橋 孝夫さま

【河川レンジャーのコメント】晩秋の自然豊かな千里川川へへの思いが感じられ、素晴らしいと思います。

町立ふるさと館



『川遊び』
中村 初代さま

【河川レンジャーのコメント】川の中の人物は、全員後姿ですが、艶めかしくて楽しさが感じられます。意図してかどうかは安全監視もよいですね！

今年度のテーマ
「猪名川を みる人・楽しむ人・大切にする人」でした。
たくさんのご応募、ありがとうございました！



2015 いながわ 猪名川のい～な！

入賞作品が決定しました！

多くの人に猪名川のよいところを知っていただくべく、猪名川流域のさまざまな魅力を表現した写真・絵画を募集し、応募作品の展示と表彰式を行いました。第4弾は、応募者44名(写真26点、絵画18点)の中から、7名の作品が入賞いたしました。

外来植物の出前講座を行いました

河川レンジャーが講師となり、「水質保全」、「外来種の対策」、「防災」などの出前講座を行います。今回は、川西市文化・観光・スポーツ課が主催で、川西市立緑台中学校を対象に猪名川に生育する外来植物の出前講座を行いました。



キクイモの駆除の様子



根こそぎイモを抜きたる



これだけのイモをとりました



たくさん集まりました！



集合写真

◆キクイモの根は強いので、生徒2、3人で力をあわせてひき抜きました。生徒からは、「イモを掘るのが楽しかった」、「外来種の繁殖力を目の当たりにしました」、「僕たちも外来種の知識を持つことで、対策ができるのではないかな」などの声があり、楽しみながら外来植物のことを学んでもらえてよかったです。

◆「駆除する植物の選定について」
“キクイモ”は秋に地下でイモを蓄え繁殖することから、生徒に興味をもってもらえると思い、駆除する植物に選びました。(キクイモの原産地 北アメリカ)

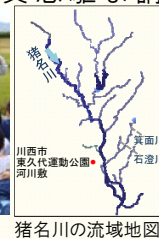
◆「猪名川に生育する外来植物のクイズ」
まず、猪名川に外来植物が生育していることに関心をもち、猪名川に生育する外来植物のクイズを行いました。

今回の「外来植物の出前講座」では、海外から持ちこまれた植物に触れ、実際に駆除を体験してもらいたいと思いましたが、そこで、生徒全員が体験できる参加型の出前講座を行うことにしました。



猪名川に生育する外来植物のクイズ

日時：平成27年10月17日(土)
場所：川西市 東久代運動公園河川敷
参加者：川西市立 緑台中学校の生徒 他



猪名川の流域地図

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、下記ウェブサイト／メールアドレスをご利用頂くか、猪名川河川事務所 管理課までご連絡下さい。

- 猪名川河川レンジャー ウェブサイト：<http://iranger.web.fc2.com/>
- 猪名川河川レンジャー メールアドレス：inagawa_ranger@yahoo.co.jp



猪名川河川事務所 管理課
池田市上池田2丁目2番39号
TEL:072-751-1111(代表)

第5回 数珠つなぎインタビュー

猪名川流域の活動団体を数珠つなぎ形式で紹介します

今回で第5回をむかえる数珠つなぎインタビューは、「多田のゴミを拾い隊」として猪名川で清掃されている活動団体「川西自然教室」の恵須川さんに応じていただきました。

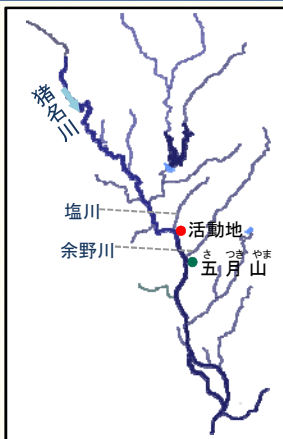
◆インタビュー

第4回数珠つなぎインタビューの「NPO法人 野生生物を調査研究する会」の飯島さんからのご紹介です。



(写真左側：恵須川さん)

日時：2015年11月22日 16:00～
活動地：多田桜木近くの猪名川
(猪名川は多田を流れるとき多田川と呼ばれています)



猪名川の流域地図

—どれくらゐの回数で活動をされていますか—

毎月1回 約2名で活動をしています。今回で一八七回目になりました。

—長く続けられていますか、秘訣は何ですか—

自分の家の庭を掃除するのと同じ感覚です。また、「ごげらだより」に活動を載せているので、「誰かが来てくれるかも」思っています。

※げらだより：川西自然教室 発行の会報誌

—活動を始めたきっかけは何ですか—

はじめは、カラスの観察がきっかけでした。20年ぐらいい前、この辺り(下の写真)は竹やぶで、キツネがいたり、カラスの「ねぐら」になっていました。今時分になる



と何千羽のカラスが、我々がサラリーマンのときに、帰宅前に一杯ひっかけられるようにこの辺に立ち寄り「ねぐら」に帰っていく。今は、五月山などに移っていったと思うけど。そのような観察だけでなく、何か出来ないかと思っていたところ、清和台近くでゴミ拾いをして頑張っている人がいると知り、活動を始めました。

—猪名川のようにするのは何ですか—

「ゴミを拾いながら歩いていると、気がまぎれ、散歩もかねられることです。」

—猪名川で気になることは何ですか—

清和台近くの猪名川に、ポイ捨てされたゴミが多いことです。交通量は多いが人目につかないので、家庭で使う大きな物やタイヤなどが捨てられています。そこは高いがけになっているので、ロープで吊るしてゴミを引き上げたり、建設機械を使って回収しています。

—活動で悩まれていることはありますか—

活動への理解がないことです。お弁当の入れ物やペットボトル、花火の燃えかすなど、そのまま置いて帰る人もいます。それに加えて、「ゴミを拾っている際でも、空き缶などを平気で捨てる人もいます。また、大雨で川の水かさが増すと、上流からビニール袋が流れてきて、それが木にまきつく」と、取るのが大変です。

—若い人に取り組んでもらうにはどうしたらよいと思いますか—

口コミで広めることもよいと思いますが、1人になっても地道に活動をしていくことだと思っています。それを見て、「我々も手伝おう」と思ってくれたら根づくと思います。



—子ども達に関心を持ってもらうにはどうしたらよいですか—

多田の保育所に「ごげらだより」や「猪名川クリーン作戦」の案内をしています。以前、保育所の先生が子ども達を連れてきてくれました。そういうのが続いたらと思います。

◆「川西自然教室」の紹介

気軽に地元の自然環境を楽しもうと設立された市民団体です。活動内容は、自然観察会、ヒメボタル、リンドウ、水鳥などの調査、今回インタビューをした清掃等です。

◆河川レンジャーの感想

今回で一八七回ということ、その継続性と、たとえ一人になっても続けるという気概に脱帽です。「自分の家の庭を掃除するのと同じ感覚です」と言われていましたが、気負いもなく、自然体でされているのが印象的でした。幾人かの人が自主的に土手の灌木を刈ったり、草ぬきをしたりと輪が広がっているのも定期的なゴミ拾いをする人を見て触発された部分も大きいのではないかと思います。「継続は力なり」という言葉を実感しました。

次回の数珠つなぎインタビューは、「伊丹市昆虫館」さんです。

お知らせ

第13回 猪名川クリーン作戦を行います

とき：平成28年2月6日(土)

※開始時間等は場所によって異なりますので、猪名川河川レンジャーウェブサイトから『今後の予定』の案内チラシをご確認ください
猪名川河川レンジャーウェブサイト
(<http://iranger.web.fc2.com>)

一緒に参加して、皆さんで猪名川をきれいにしよう



清和台での清掃活動(2015年)

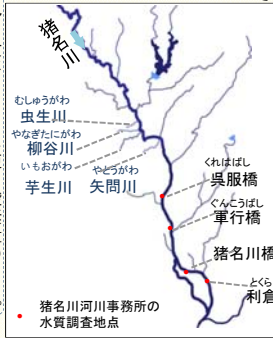


桑津橋での清掃活動(2015年)

猪名川の水環境を知る

私は2年前より猪名川の水質調査に参加し、虫生川、柳谷川、芋生川、矢間川の4カ所を担当しています。これらの川の水質はきれいです。しかし、猪名川は国土交通省の直轄河川一〇九水系のBOD*平均値ではワースト5の常連です。猪名川では4カ所で調査され、その平均値で汚染度が判断されますが、利倉の値がとびぬけて悪いです。それ以外の軍行橋、呉服橋、猪名川橋では紀ノ川並の低い数値(平成25、26年の調査結果)ですが、下水道完備に伴い、これら3地点の水質は向上し、昭和50年代は2mg/L前後だったBODは現在は1mg/L前後と半減しています。今後、利倉上流の下水処理場の能力向上とともに、水を大切に守り続けることが大事だと思います。

*BOD:水中のバクテリアが汚れを食べるときに使う酸素量のこと。
世界共通の水の汚れを表す単位。(猪名川河川事務所ウェブサイトより)
(田中河川レンジャー協力員)



猪名川の流域地図